



ピリカ君

タネピリカ

タネピリカってアイヌ語で“これで良い”って意味だよ



タネピリカ

タネピリカはここ建部に新しく苗を育てに来た人と、この里を守りたいと願う地元の人との交流新聞です。

建部タイムスリップ

福渡第二保育園

ありがとう

平成29年3月31日をもって福渡第二保育園は休園となる事が決定した。昭和49年に開園から43年間の多くの子どもたちがこの園で育ち、この園を巣立っていったことであろう。

開園当時、福渡の町はいくつもの商店が並び、多くの人で賑わっていた。福渡で働く方たちにとって子どもたちを通わせる保育園が川口の福渡保育園しかなく、タクシーで子どもたちを通わせていたそう。しかし、多くなる子どもの数と、通わせる不便さから福渡の町に保育園を建設してもらえようという嘆願を出し、福渡第二保育園が開園することとなった。開園開始時の園児数は70名、福渡の中心にモダンなコンクリートの園舎はとも映え、大きなプールは子どもたちの自慢のプールであった。園に隣接していたスーパーに来る買い物客は、園から子どもたちの笑い声、歌声が聞こえてくることごとくも心地よかったようだ。福渡の町の中にあることで、子どもたちをそばに感じながら、保護者達も気持ちよく働くことが出来たのではないだろうか。

しかし、福渡の商店街から店が1つ減りまた1つ減るようになって同時に、第二保育園からも子どもたちが減っていった。開園時に通っていた子どもは、皆町外に働きに出て行ってしまい、住む場所も町外へと変わったため園児の減少は止まる事はなかった。平成13年には園児数が30名となってしまった。

休園前の園児数は11名。3月24日に実質最後となる卒園式が執り行われた。卒園児2名、卒園児の保護者だけでなく在園児の保護者、園の為にご尽力いただいた地域の方々を招き温かい雰囲気の中行われた。卒園式後「ありがとう会」と題した会が催された。会では、岡山市の木である黒鉄桐（くろがねもち）を植樹（観察用）し、来園者全員で子どもたちと一緒にカレー（試食）を食べた。園児たちは大勢で給食を食べることが初めてで「こんなにたくさんの人と給食食べると楽しいね」と嬉しそうだった子どもたちにも、保護者にも、地域の方々にも「ありがとう会」は本当に良い思い出となったことであろう。

改めて私の心の中に「福渡第二保育園は地域の人々によって育まれたとても良い保育園だった。」ということだけが強く残った。園児数は減り、ある側面から見ると十分な保育ではないかもしれないが、その事を補うだけの地域の方とのふれあいが強くなり、少人数だからこそその強みが多く感じられた保育園だったのではないだろうか。

今後第二保育園がどのように活用され、変化していくかは確定していないが、福渡の町の中へ子どもたちの笑い声が少しでも届く場所となる事を願っている。

最後に第二保育園の為に尽力いただいた方々に心より感謝申し上げます。また「ありがとう会」という素晴らしい機会を作って頂いた、河本好枝園長先生に感謝申し上げます。

作成 吉岡 優

2017年5月



お名前: かおりさん
☆宮城県からの移住
☆1児のお母さんです

もくじ☆

1. 建部タイムスリップ
 2. みんななハッピー アレっ子生活
 3. たけべon the ロード
 4. たけべぐらし
 5. 福島からの便り
 6. 時ドキ月と気
 7. みどりの映画会案内
 8. ピリカ日和
- ・野草のおはなし
・公民館より

みんな Happy

アレツ子生活



アレツ子の食事のイメージってどんな感じですか？
何食べるの？お飯作るの大変そう。何作ったら
いいの？こんな感じではないでしょうか。私もかつ
てはそう思っていました。もちろん我が家の食卓には
ふわふわの卵焼きもトトロチーズも出てきませんが、子
供たちはあくあく育っています。

うちのアレツ子の好物は豆乳です。朝食、おやつ、お風呂上
りかきかかせません。うっかり切らした時は大ブーイング
です。豆乳で大きくなったと言っても過言ではありません。
赤ちゃんの時は母乳をゴクゴク飲んで、アレルギー・離乳食
に困っても母乳があるから大丈夫って思えたし、卒業して
からは豆乳で栄養とれてるなって、ちょっと安心しています。

アレツ子も他の子と同じように育ち盛りなので、大好きな
豆乳をたくさん飲んで、みるみるお米をモリモリ食べて、
がっすり大きくなっていていきます。

最近、私とアレツ子がハマっている豆乳シヤムを
紹介しまあ、パンにつけて食べるとおいしいですよ、

ゆか

豆乳シヤム
(作りやすい分量)

豆乳(無調整のもの)

200g

さとう - 40g

厚手のなべでたえず
かき混ぜながら煮
詰める。少しトロツとし
たら火を止める。少し
ゆるい位が冷めた時
にちゅうどいい固まら
なる。一緒に紅茶を
煮詰めると、ミルクティー
風味に。さとうの一部を
X-フォルミロップに置き
換えても美味しい。

建部町公民館

俳句倶楽部

もっと俳句の面白さを知りたい！と思ひ建部町公民館
クラブ講座「俳句を楽しむ会」の皆さんにお願ひし、
今回もインタビュウして俳句にまつわるお話を伺いました。

この路に よきことありと 山笑う 郁子

春色に色づきはじめた山に続く道を行くと、良いことに
出会えそうなのウキウキした気持ちになった

山うらら どの椿にも 恋ごころ 美智子

春の日の柔らかなさの中に咲いている、可愛らしい椿に
恋ごころを抱いた

根深汁 子らの帰る日 待ちるたり 久代

孫や子ども達が大好きで楽しみに入っている根深汁(葱
の入ったお味噌汁)をたくさん用意して里帰りを待ち
わびている

鯉の背を 大きく見せて 水温む 房野

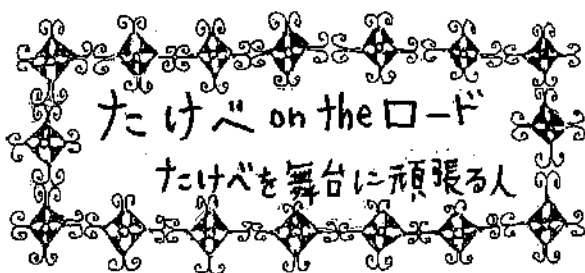
冬のうちは水の底に隠れていた鯉も、春の温かさに誘
われて水面に上がってきて、大きな姿を見せてくれる

今回は四句頂きました。どの句も
読んでいるうちにアニメーションの
ように情景が浮かんできて、日常の
小さな感動がこんな短い文にまと
まっていると思ふと本当に奇跡だ
なっていると思います。

かつちゃん

ある方に「俳句を作ってみた
ら？」と言われ頭の中であれこれ
考えてはみたものの、伝えたい事
は発見できても、五七五という限
られた文字数で表現できず難しい
でも一つ思い付きました。「花粉
症」が季節だという事で一句。
花曇り 私のは 雨模様

あや



今回お話を伺ったのは、建部町川口にてENOYA・for・hairをご夫婦で営んでおられる、榎本ゆかさんです。ゆかさんは3児の母で理容師さんです。岐阜で生まれ育ち、ご実家も理容室ということで京都へ理容師の修行へ出られていました。修行先の先輩だった旦那様と出会い、11年前建部町へ嫁いでこられました。タネピリカの中では「アレツ子」の記事を担当してくれています。

こと：17年続けているって、職人さんだよな。

ゆか：そうでもないよ。旦那は職人だね。私はなんだろう？京都で修業していた時なんかは、辞めるとか辞めないとか、そういう選択肢があるとも思ってなかったよ。

実家も散髪屋だし。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、父の兄弟も散髪屋、いとも散髪屋。私は散髪屋に生まれた長女だから、理容師にならないなんてありえない！って言われる環境だった。本当は調理師になりたかったの。こっそり調理の専門学校を受けていたら、合格通知が家に届いたことで親にバレて「何を考えてるんだ！蛙の子は蛙だぞ！」と言われ、では理容師になろうかなあ・・・と。

こと：京都での修行中にご主人と出会ったんだよね。修行はどうだった？

ゆか：そこで、旦那と出会ったんだけど、京都のお店は上下関係や先生も厳しかったよ。まず、京都の言葉ではないことに怒られた。京都弁のつもりで話していても、イントネーションの違いに慣れなくて、そこで怒られ・・・喋れないから常にニコニコ笑ってた。「おおきに」って言葉が京都風に言えなかった(笑)

こと：そして京都から岡山へ嫁ぐとなって、岐阜からどんどん離れていくけど心配されなかった？

ゆか：岐阜からしてみれば岡山って「どんなところ？どこ？大丈夫？」ってすごい友人も家族も心配していたよ。でも、京都で辛いことも多かった6年をやってこれたんだから、岡山で結婚してもやっていける！と思った。ただ、岡山へ来て最初は暗かった。一生友達はできないと思ってたよ。でも、お客さんがいてくれて、家族以外の人とも話す場があることで救われた部分が多かったよ。でないと、友達も知り合いもない中で、子供抱えてはかなり辛かった。今、こうやって友達が周りにいることも嬉しいよ。

こと：夫婦で仕事をされていると、24時間一緒になるじゃない、どんな感じ？

ゆか：よく聞かれるけど、物心ついた時からそういう環境で育ってきているので、そんなものかなと。店の中では旦那、嫁というより、オーナーと従業員という関係かな。京都のお店から続いていたように敬語で話しているよ。でも、彼は職人なので目を光らせているの。鏡越しに私を見ていることがあって「見ないで！何かおかしいって思ってるの？」って焦ったりすることもあるよ(笑) そんな時はお客さんに気づかれないように、あっち行って！って合図したりしてる(笑)

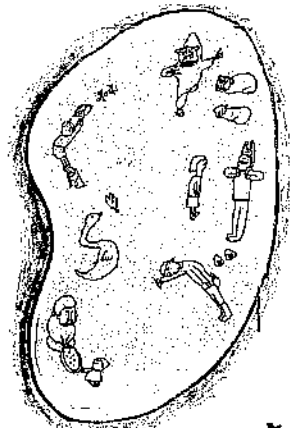
こと：今後のENOYAさんはどんな展開になっていきそうですか？

ゆか：これからの建部は高齢化が進むからね、こちらから行ってあげたらいいのかなあと思ったりしている。あとはお母さんが着付けをしてくれているんだけど、私もまず浴衣の着付けから学び、スキルアップしていきたいと思っています。

今回、お話を伺う中で、ENOYAご夫婦にはお店と家をつなぐ一枚のドアが「オーナー・従業員から夫婦」へのスイッチとなり「敬語」から「いつもの言葉」に変わっていることがわかりました。家に戻りゆかちゃんが旦那さんに話しかける様子が私には想像でき、微笑ましく思えます。

また、建部町豆知識として、年末年始、3月末から4月の繁忙期以外にも「田植えと稲刈りが終わった直後が忙しい。」と、ということがわかりました。さすが建部です。皆さんもこの時期に髪を切りに足を運ばれているのでしょうか？

【こと】



★リフレイトにも使われるこの題字は
公民館の延江のリニヤンの作です

たけべの高齢化率はなんと43%!!
そんな中、「おんかせにもあ おえん!!」
と立ち上がった若者たちがいた。

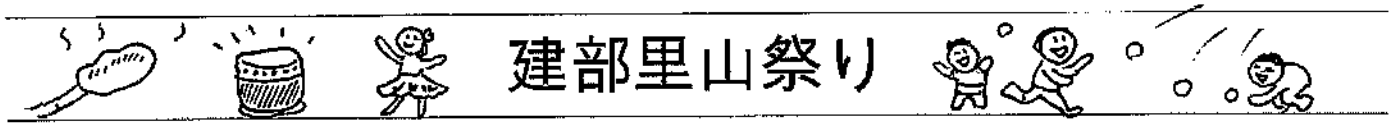
「たけべおこしプロジェクト」は若者が主体となって、「住んでい
てよかった建部」「また帰ってきたい故郷、建部」となるまう、
建部町が元気に活性化することを目的として活動しています。

地域のイベント、さくら祭りやれんげ祭りに参加して、会場を
盛り上げたり、自分たちで「ちっちゃ市」や「たけべマルシェ」を
主催し、たけべを盛り上げています。

たけべの魅力をもっと知りたい、もっとみんなに伝えたい!!
たけべのいいところがいっぱいあった「たけべぐらし」の冊子が
新しくなりました。公民館に置いてあるので、ぜひ手にとって
みてくださいね。 たけべおこしプロジェクトでは、今後もっとま

ざまな団体と連携をとって、たけべを盛り上げていきたいと思っ
ています。メンバーになりたい方は、お気軽に声をかけてくださ
いね。今年は「タイムカプセルを開ける」ので、みなさんの力を
かしてください。

(あゆみ)



建部里山祭り

大きな崖にかじりつき元気に登る子どもたち。男の子も女の子もあつという間にどろんこ。中には「靴に土が入っちゃう・・・もう靴を脱いじゃえ!この方が登りやすい!」と、裸足で登る子ども。遊び疲れた子どもたちは、ソフトクリーム・ヨーグルト・クレープ・竹パン、お楽しみもたくさん。富沢の里山祭りがありました。お天気が良く気持ちよかった1日。地域の方のお店が並び、ハッポネ太鼓に、傘踊りなどに恒例となりつつある大声大会。そして、やっぱりみんなが楽しみなのは最後に降ってくるたくさんのお餅。今年は「子どもタイム」があり、子どもたちも一生懸命!夢中になって餅を追っていたら、思わぬ方からも餅が飛んできて、ゴチン!!!なんてことも。

タネピリカでは出店とピリカフラワーズでのフラダンスの出演をさせていただきました。タネピリカブースは
1つはxChange (エクスチェンジ)
これは、ファッションアイテムに特化した、誰でも参加・開催できるフリースタイルの物々交換会。人や地域の繋がりを豊かにし、所有から共有へ、循環型社会へのシフトを促すプロジェクト。
2つ目は新聞紙のエコバック作り
家にある新聞のカラフルな広告部分を使えばオシャレなエコバックへ返信。また、これが意外に丈夫であり、小学生から簡単に作って楽しめるものです。
ブースやフラダンスを見ていただいた方ありがとうございました。

個人的な感想ですが、私たちが育った時代と違い、現在は親が子どもの手を離すことのできる環境が少なくなっているように感じています。なので親も子どものびのびできるこのお祭りは毎年楽しみな行事の一つとなっています。

福島からの便り

Vol. 12

2011年3月11日

あの日から続く「今」があります
福島に想いをよせ、耳を傾け下さい



東日本大震災と原発事故から6年が経ちました。
3月12日に岡山市内で行われた「3・11への祈り」で、
お話された原田由起子さん(福島県出身、震災後茨城県
岡山市→備前市在住)の言葉をお伝えします。

私は福島県出身で、震災のあった年の7月に、茨城県から一家で岡山に来ました。当時5歳、3歳、0歳だったわが子も大きくなりました。震災から6年。岡山に来てもう6年です。

みなさんにとってはもう6年でしょうか？まだ6年でしょうか？

5年経った頃から「一定の節目を超えた」と言われるようになってきましたが、私には違和感があります。私には西暦のような「アフター3・11」という暦があるように感じていて、「16年経った今」という感じです。放射能の特性上、元の環境に戻るまでとてつもない時間が必要で、終わることができないのが原発事故だと思うからです。

あの日、震災、そして原発事故が起き、目に見えずとも大きく変わったことがあります。その事を受け入れられずに、悲しみのあまり怒りがわき起こる自分がいて、それも苦しいことでした。ふるさとが放射能で汚染されるということが、こんなに辛い事だとは思いませんでした。

また、被ばくや健康リスクを語ることがタブー視される事も辛いことでした。東日本から離れた私がそれを言うのは、相手を傷つけてしまうのではないかという怖れもありました。しかし、明らかに事故前よりも高くなった放射線量。駅や学校にガイガーカウンターが普通にあるようになりました。2011年に帰省したときには、0.6 μ sv/h(毎時0.6 マイクロシーベルト)以上の数値でした。それは本来一般の人は立ち入ることのできない放射線管理区域の数値です。それなのに景色は以前と変わりなく、人も暮らしています。できれば住まない方がよいと思う場所に、大切な家族がずっと暮らしています。放射線管理区域の0.6マイクロどころか、震災直後は16マイクロという驚くべき数値がテレビでも放送されました。とんでもない値であるはずでした。しかし、避難指示は私のふるさとには出ませんでした。私はそれが理解できませんでした。いろんなことに不信感が募りました。事実と、国や自治体の指示と、そこに住む人の思い、見えない放射線…、原発事故はいろんなことを複雑にしました。

岡山に来てからすぐは、目の前の1つ1つの光景までが福島と重なり、どこにいるのかわからなくなりました。岡山は私には福島と似ていると思う点がいくつもあり、親しみがわく一方で、福島で祖父が毎年大事に育てている桃やお米の風景にも重なり、岡山と福島は何が違ってしまったのかと悲しみていっぱいになりました。

しかし、1年1年岡山で過ごすにつれ、心境は変化しました。「福島に家族は絶対避難した方がいい」と思っていた事も徐々に変わりました。どんな生き方で、何が起きて、他人が何を思おうと、何が幸せかは最後までわからないし、他人が決めるものではないのかもしれないと考えるようになりました。「自分の中で原発事故を受け入れていく」と、きちんと思えるまで4~5年もかかった気がします。

思えば、たくさんの不信感を募らせていた私が、岡山で支えられていたのは人の温かさです。岡山に来てすぐの頃、さりげないちょっとした親切な心をかけてもらったことで、大きな力をもらった事を覚えています。震災と原発事故がなければ来ることがなかった岡山での出会いは、今の私にとって大切なものになっています。

震災後の7年目が始まっています。当たり前のことがあつという間になくなったあの日から、何気ない日常がどれだけありがたいかを知りました。これからも1日1日を、その日の朝が始まる事に感謝の気持ちを忘れず過ごしていけたらいいなと思います。

時がきつくと気第三回「時間って？」

楽しい時間は短かく、辛い時間は長い。時計は機械的に時間を刻んでいくが…。時間は本当は伸び縮みをしていくのかもしれない。そもそも時間とは、物が動いたり、変化したりするから存在するのでは？。一切のものが動きも、変化もなければ、時間は無い、というが、時間を認識できなくなる。時間は全く止まっている。認識できないものを普通「存在しない」と言うよね。だから、やはり、楽しい時間と辛い時間との間では、精神の動きも変化の仕方が違って、時間の進み方も本当に違ってくるのかもしれない。が、さて措き…

人間社会で、そもそも時間って何だろう？。ただの時間は、花や草と連続しているだけのものだ。この花や草とした連続体が、人が目盛りを付けることで、「年月日」とか「時刻」とかが生まれる。そして過去から未来への時間の経過が把握できるようになる。一日より長い時間は暦で、一日より短かい時間は時計で測る。日、週、月、年、世紀、時間、分、秒。暦や時計が時間だろうか？。

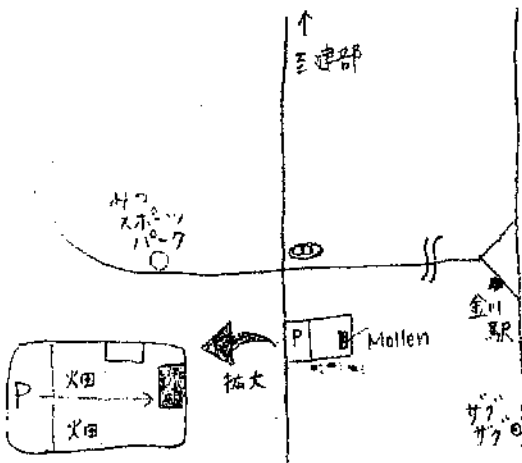
では、一日の長さとは何？。地球という天体がコマみたいに自転する一回転。これが時間の基本。もちろん、地球ローカルな尺度なわけだけど…。しかし一方、理科(物理)で時間は、一秒を1分の160とするのではなく、セシウム133原子の約92億回の放射の周期と、10年に決めた。この時から1分=60秒、1秒以内の単位になり、1日や1年の長さも、地球の自転速度のブレまで含めた秒で測られるようになった。とけいこん、地球上の人間社会において、やはり一日の長さが一番の基本の時間の単位であることに変わりはない。

やはり、毎日朝が来て、夜が来るのが、時間の基本の単位だ。

お 店 紹 介

今回は御津高津にあるカフェ「もるん」さんです。
 パキスタンにお住いだったこともあるそうで、駐車場から畑の中の橋板を渡って行くと異国情緒のある素敵な佇まいのカフェが見えてきます。アンティークレースや作家さんが作られた刺繍小物などハイセンスな物に包まれながらゆっくりできるカフェです。米粉のケーキやコーヒー紅茶ジュースが頂けます。コンサートやマルシェ、お話し会、様々なワークショップも行われています。オーナーの浅井さんより「赤ちゃんから大先輩までみんなが集える居場所になりたいと思います。来て下さる方が楽しんで元気になってもらえたら嬉しいです。」

- ・ 5月の営業は1・2・3日 営業時間 11:00~16:00です。(他の日でも予約して頂ければOPENできます)
 - ・ 6月4・5・6・7日「ラオスの山岳民族モン族の衣装・刺繍」「アンティークレース」を展示予定。
 - ・ 7月3・4日「アンティークレース・刺繍」を展示・販売予定。
- 【イベント】日程はお問い合わせ下さい
 ヨガ月2回月曜日10:00~。布絵本作り。(フェルト・刺繍糸・布の寄付をお待ちしております！)
 「東日本大震災の被災地にクリスマスカードを贈ろう」という活動をしています。手ぶらでいらして下さい。外国文化のお話し会、藍生葉染め、クリスマスコンサート、お餅つき、つんちゃん劇場など。



カフェもるん (Molln)
 〒709-2124岡山市北区御津高津1230
 ☎ 086-724-0909
【営業時間】
 11:00から16:00
【営業日】
 毎月第1月曜、火曜日のみカフェ営業
 その他イベントあり
 他の日でも予約して頂ければOPENできます

みどりの映画会のご案内

毎月第1金曜日 10:00～と18:00～、各回2本立て

映画館に足を運ぶのが難しい地域にお住いの方や子どもさんを預けて映画を見に行けない方のために毎月一回建部町公民館で小さな上映会を行っています。「映画をよりよい未来のために。社会の課題解決のきっかけに。」を掲げた配給会社ユナイテッドピープルの作品を中心に上映しています。

前回の感想から・・・・・・・・・・上映内容は→ →

★変身

「放射能の Before After。その日で生活も関係も何もかも変えてしまう恐ろしさを感じました。」

「アメリカ人も日本人も反応が同じなのが学んでないなあと感じて悲しかった。」

★0キッチン

「“食べ物を大切にする”というのは子供の頃からよく言われてきた話。それでも食糧の廃棄量の多さはよく聞く話です。自分が何ができるか？と行動したチャレンジは素敵だと思いました。いろんな国でいろんな思いを持って行動している方々の知恵と勇気をつないでいけば、世界から飢えの問題はなくなるかも！」

★「変身— Metamorphosis」監督：堀潤

ジャーナリスト堀潤が、いずれも過酷なメルトダウンを起こした福島第一原発事故（2011年）、米国のスリーマイル島原発事故（1979年）、そしてサンタスサーナ原子炉実験場事故（1959年）を取材。忘れてはならない日米メルトダウンの現実を突きつける渾身のドキュメンタリー。

★「0キッチン」監督：ダーヴィド・グロス、ゲオルク・ミッシェ

内容：使った廃油 684.5リットル。走行距離 5079km。救出した食材 690kg。世界で生産される食料の3分の1は食べられることなく廃棄されている。その重さは世界で毎年13億トン。「捨てられてしまう食材を救い出し、おいしい料理に変身させよう！」植物油で走れるように自ら改造した車に、ゴミ箱でつくった特製キッチンを取り付け、ヨーロッパ5カ国の旅へ出発。

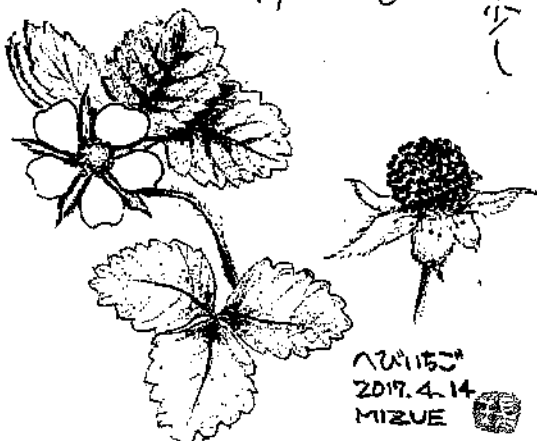
野村らみはし

みずえ

4月から6月にかけて地面に這うように広がって、直径15cmほどの黄色の花を咲かせる「へびいちご」。田んぼの畦や畑・空地などでよく見られる。花はかわいくけど、その赤い実はちやうど毒々しいカンジがして、子どもの頃から食べたことはない。でも実は毒はなく食べられる。味があまりなく、ジャムにもできるそうだが、うらん。どんな味になるのかなあ……いっぱい集めるのは大変そう……

他の野いちごは美味しくて、花も白かピンク。なげんごへびいちごだけ黄花なのかな。その上、名前がねへびの居そうな所に生育するからとか、諸説あるようだけれども、もう少しかわいいな前ならいいのね。

でも、解熱や神経痛にも効く薬効があるそう。へびいちごの実の焼酎漬けは虫よけやかゆみ止めになるとも。ちやうど実の成るこのとき節、試してみたいものです。



へびいちご
2017.4.14
MIZUE

タネピリカ 日記

たけべの春もあと
いう間にすぎましたが、
私はこの季節の山の彩りがスキです。
今回のタネピリカ 久々の「福島からの便り」
やはり考えさせられます。日々の生活があり
前をみんな向いてゆく。その過程を
想像すると…。今回は久びさ
あたらしい仲間が登場!!
うれしいです。



裏山ではウグイスが
鳴きかわし、子ども達は
ツクシやタケノコをとってきては
台所にもってきてくれます。
そんな春が口末えるのも、建部の
よいところ♡ 伊勢崎を
ととのえつつ、よき若葉。
季節をお迎えください。



公民館より

今年の桜は開花が少し遅かったようですが、みなさんはどちらへお花見に行かれましたか？建部町は、「たけべの森はっぼね桜まつり」の行われたたけべの森はもちろん、川沿いや山にもたくさんの美しい桜があつて、私は毎日の通勤がお花見でした。

5月から、公民館主催講座も本格的にスタートします。ぜひ参加してみませんか？



ぴよぴよリトミック

音楽やリズムに合わせて歌ったり体を動かしたりするリトミック。月に1回、保育園・こども園で行っています。申込み、参加費不要。お孫さんとの参加も大歓迎！

- 対象：就園前の親子
- 日にち：5月23日(火) 竹枝保育園
6月13日(火) 建部認定こども園

- 時間：
3歳以下 10:00~10:40
4歳以上 10:50~11:30
- ※建部認定こども園は以下の時間です

- 3歳以下 10:00~10:35
- 4歳 10:40~11:15
- 5歳 11:20~11:55



食器の交換コーナー

- 期間…5月15日(月)~6月18日(日)

5月30日はごみゼロの日。まだまだ使えるのに不要になった食器を持ち寄り、必要な方に持ち帰っていただくコーナーです。

※持ち込みの注意点など、
詳細は公民館だよりをご覧ください。



【発行】

岡山市立建部町公民館「タネピリカ」新聞委員会

〒709-3111 岡山市北区建部町福渡 496-1

電話 (086) 722-2212 Fax (086) 722-2160

E-mail takebekoumin@city.okayama.lg.jp